

## SPECIAL INTERVIEW

### 盛・美容外科

SHENG COSMETIC SURGERY CLINIC

院長 医学博士

日本形成外科学会会員 日本美容外科学会会員

# 盛 虹明 さん

SHENG HONG MING

日本に16年間滞在、横浜で美容外科医として活躍していた盛先生が念願のクリニックをオープンさせて1年足らず。あっという間に口コミで患者の輪が広がったのは、技術もさることながら、女性の悩みやコンプレックスを自分のことのように受け止めてくれる盛先生の優しい人柄によるところが大きいようだ。「美容形成はビジネスではない、医師と患者とで作り出すアートなんです」と熱心にご自身の美容形成論を語ってくださった盛虹明先生。女性を美しくできる美容外科医の仕事は「僕の天職」と言い切る。



**顔を治すのではなく、  
心を治すのが美容形成。  
女性が前向きに生きていくための、  
お手伝いをします。**

盛先生が美容外科を志したきっかけを教えてくださいませんか？

僕は南京医科大学出身で、もともとは内科医だったんです。中国が開放された時、どうしても外の世界が見たくなかったので日本に留学して、その後は北里大学の救急センターに勤務していました。でも救急センターという性格上、患者さんの死に直面することが多いのが辛くて。その頃、知り合った華僑の先輩が形成外科の先生で、「お前は美容のセンスがありそうだから形成に行ったらどうだ？」と声をかけてくれたんです。それから横浜市立大学医学部の形成外

科で勉強し直して、学位も取りました。結局日本には16年間いて、昨年上海に戻ってクリニックを開いたんです。日本にいた時から、いずれは中国に戻って自分のクリニックを持つのが夢でしたね。

こちらのクリニックは日本人の患者さんが多いそうですが、どういった施術が多いんでしょうか？

患者さんのほとんどが40代前後の方です。いちばん多いのはフェイスリフトやたるみ取りのアンチエイジングですね。開院してまだ1年ほどですが、のべ1000人以上の日本人の方に来ていただいています。僕は日本で素晴らしい医師に巡り会って、しかも日本人のいろんな方にお世話になったんです。だからこの上海のクリニックでは、逆に外国にいる日本の皆さんに恩返ししようという気持ちです。患者さんはほとんどが日本人なので、スタッフはすべて日本語を話しますし、サービスも日本と同じオリティにしています。例えば完全予約制というのも、これは患者さんのプライバシーを守るためなんです。実はここまで気を遣うクリニックは中国にほとんどないんですよ(笑)。中国の美容外科はオープンすぎるし、しかも中国と日本とは患者さんが美容整形に求めているものが全く違う。日本の手術は自然に目立たないようにが主流ですが、中国では手術できれいになってみんなに自慢したいので、術後はつきり変わったように見えないと意味がない

と思う人が多いんです。だから、もし僕が中国の人に手術をしたら『私の顔、あまり変わっていないんじゃない？』と言われるかもしれないですね(笑)。この感覚の差はとても大きいです。

一般的になったとはいえ、まだ美容整形に抵抗のある方も多いと思いますが、盛先生の考える美容整形の効能とは？

皆さん誤解しているかもしれませんが、美容形成というのは、ただ表面的な美を追いかけているだけではないんです。美容形成は顔を治すのではなく、実は心を治すこと。コンプレックスを解消して、その人が前向きに生きていくためのお手伝いをすることなんです。手術はあくまでも手段のひとつです。ただコンプレックスを改善することで、術後に女性ホルモンが変化し、肌もきれいになる人が多いですね。アメリカの研究者によると、中年以降に美容形成を受けた人は、何もしていない人よりもホルモンのバランスがよくなって、長寿になるというデータも出ています。美が生み出すメンタル面への影響はとても大きい。しかも精神面が変わると、行動も自然に前向きになっていきますね。実は完全なボランティアなんです。13年前にある事件で硫酸を顔にかけられた女の子がいて、その子の顔の形成手術を引き受けたんです。中国で大々的にニュースに出た事件なので覚えている方もいると思いますが、7歳で実質的



に顔を失ってしまった彼女に、少しでも僕の技術が役に立てるのなら、という気持ちで手を挙げました。美容形成には困っている人を助ける側面も少なからずあると思いますね。

盛先生が手術をする際に、最も神経を使うのはどういうところですか？

患者さんに痛みを感じさせないことが、僕の基本方針です。僕の手術は痛みがないことに定評があるんですが、ローカルの病院で痛い思いをした患者さんがうちに来て、「あの痛みはいつたいた何だったんだらう？」とびっくりしていました。特に他のクリニックで失敗してうちに来る患者さんは、それがよくわかるみたいですね。手術なんだから痛いのは当たり前だと患者に言う医師もいるみたいですが、患者さんを自分の愛する家族だと思ったら、そんなこと絶対に言えないはずなんです。例えば麻酔を打つ時もゆっくり丁寧にやるなど、ちょっとした気遣いで患者さんに痛みを感じさせないことは可能なんですよ。

中国でも最近美容整形外科が増えています。失敗例も多いと聞かれています。この状況を盛先生はどう思いますか？

これは異常なことだと思います。僕の持論は、美容形成はビジネスじゃない、アートなんです。ビジネスに走ると必ずトラブルが

起こる。トラブルが多いと信用がなくなってしまう。それは意味のないことでしょうか？だからこそ、患者さんの方でも医者を選ぶ目を持って欲しい。僕のところにも、他のクリニックで失敗して困り果てて来られる方がとても多いです。こちらのクリニックでは手術前のカウンセリングをとっても重要視

ンセリングが完全に終わるまで、どんな小さな手術もやらない方針です。女性の顔や体は命と同じくらい大事なものの、気を遣って間違いすぎるといふことはないですからね。それに、美容形成は医師だけでやるものではなく、患者さんとふたりで作ります。僕



①クリニックは完全予約制。スタッフはすべて日本語可。②落ち着いた雰囲気の待合室③クリニック内の手術室。大がかりな手術の場合は浦南医院で行う。④回復室も完備されている。

しています。最低でも1時間、長い人は日を変えて何度も何度も話すこともあります。女性がまったく初対面の男性に、自分のコンプレックスを話すというのはたいへん勇気が必要なことです。まずリラックスしてもらって、その上で僕という医師をまず信頼してもらわなければならないんです。カウ

いつも手術をした患者さんに言うんです。「あなたの顔はあなただけのものじゃないよ。僕と二人で作った作品。どうぞ大事にしてくださいね」って。ただひとつ言いたいのは、美容形成の場合、どんな手術でもリスクがゼロということはありません。だからうちのク

リニックのパンフレットでも「すべての手術があなたに合うとは限らない」という一言を必ず入れていただきます。それは頭に入れておいていただきたいですね。

これまでに印象的だった患者さんはいませんか？

40歳過ぎまで男性とまったくつきあつたことがないという患者さんがいたんです。彼女のコンプレックスは目と鼻で、普通にきれいな子なのに自分の顔がイヤでイヤでたまらなかつたみたいですね。それで少した手術で治したんですが、それがスイッチになって自信がついたのか、半年後に恋人ができて結婚しました。日本で医師をやっていた時には、杖をついて鼻を治してきた70代のおばあちゃんもいましたし、80代で皺取りをしにいられた方もいました。鼻を整形をしたおばあちゃんの場合、どうしても整形をしたいと家族に話したら、「頭がおかしくなつたんじゃないの？」と言われたそうです。そのおばあちゃんの場合、高校時代から自分の鼻が嫌いで治したくて治したくてたまらなかつたけれど、これまでゆとりがなくてできなかった。孫ができる年代になつてようやく余裕ができたので、少女時代からのコンプレックスを解消しようとしたわけです。僕はその気持ち、本当によく理解できましたよ。女性は生きていく限り現役で、美への執念は死ぬまで続くものなんです。美は女性そのもので、美しくあろうと思う気持ち

がなくなつたら、もうその人は女性じゃない。だから年をとつてもきれいでありたいと思うのはとても自然なことなんです。「親からもらった体に傷をつけるなんて」と日本の年配の方は言うのですが、コンプレックスを持って暗い顔で暮らすより、明るい笑顔で毎日を前向きに送る方が、あなたの親もご先祖様も喜ぶんじゃないのかなって僕は思います(笑)。

盛美容形成外科がこれからのめざすところは？

このクリニックの柱は安全・満足・納得なので、盛美容外科は安心と言われるようなブランドを確立したいと思っています。クオリティ重視なので1日の患者さんは5人まで、大きな手術は1日1回だけです。毎朝1時間、リラクセスしながらいつも手術のシミュレーションをしています。たとえ10分の手術でも3日くらい考えることがあります。仕事を辛いと思ったことはないですね。自分の手で人を美しくできる美容外科医という仕事は、僕の天職だと思っています。

盛・美容外科  
SHENG COSMETIC SURGERY CLINIC

住所：上海市浦東新区崑山路1029号  
中電大廈1603室

受付・診療時間/9:00~18:00  
(完全予約制)

電話：(021)5878-8183(中国語)  
(021)5878-8082(日本語)

http://www.shenghm.com

E-mail: sheng\_hm@yahoo.co.jp